

やませの現状と地球温暖化

気象講演会

地球規模で引き起こる温暖化の時代、
東北地方の稲作に大きな影響を及ぼす「やませ」はどうなるのか。
気候変動の立場からみた「やませ」の出現傾向と稲作への影響の両面から解説します。

平成23年
日時 **11月5日(土)** 13:30~16:00
(開場13:00)
会場 **アイーナ 812研修室** (いわて県民情報交流センター)
盛岡駅西口

入場
無料

講師及び演題

1 「やませ及び気象変動と稲作」

講師：神田 英司氏

(農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター 生産環境領域 農業気象グループ 主任研究員)

2 「ヤマセと地球温暖化 ～ヤマセの気象学～」

講師：岩崎 俊樹氏

(東北大学大学院理学研究科教授)

主催：日本気象学会東北支部 共催：盛岡地方气象台 後援：岩手県、盛岡市
問合せ先：盛岡地方气象台防災業務課 / TEL 019-622-7870

開催主旨

東北地方は太平洋に面した長い海岸線を有しています。春から夏にかけては海から吹く冷たく湿った東よりの風「やませ」により、稲作を中心にした農作物の被害をたびたび受けてきました。一方で、近年は地球温暖化による気候変動も注目されています。

本講演会は、地球温暖化とやませの関係と、それらが稲作に与える影響を解りやすく解説し、気象や気候に対する理解を深めて頂くことを目的に開催します。

講師紹介

「やませ及び気象変動と稲作」



神田 英司

東北農業研究センター 主任研究員

- 平成4年 農林水産省採用
- 平成7年 東北農業研究センターで水稻の気象災害に関する研究に従事
- 平成13年 同センター連携研究第1チーム主任研究員
- 平成18年 同センターやませ気象変動研究チーム主任研究員
- 平成23年 同センター生産環境領域主任研究員（現職）

「ヤマセと地球温暖化 ～ヤマセの気象学～」



岩崎 俊樹

東北大学大学院理学研究科教授

- 昭和55年 気象庁採用
- 昭和58年 気象庁予報部電子計算室
- 昭和62年 気象庁予報部数値予報課予報官
- 平成9年 気象庁予報部数値予報課数値予報班長
- 平成10年 東北大学大学院理学研究科教授（現職）